

天白を元気にする情報紙

第8号

ぱわわ



交番前導員、女性会、
民生委員のみなさんも
「あったかネットワーク」
の一員として活動



活動の中で大切にしたいこと

- 普段の生活の中で、自分のできる事から始め、意の長い活動として続けていく事が大切。
- スタッフの活動だけではダメ。
他の人にPRしていく事が大切。
- この活動を通して地域のつながりが深まり、みんなが顔見知りになる事が大切。

2006年3月1日㈭ 第8号
 ●発 行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
 ●編 剃 天白区社会福祉協議会情報紙「ぱわわ」編集委員会
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目 301 原ターミナルビル3階
 ●発行部数 62,000部 年4回発行(平成17年度 6月・9月・12月・3月発行)
 ●記事・広告掲載についてのお問い合わせ
 TEL 052-809-5550 FAX 052-809-5551
 E-mail: tenpakuVC@magoya-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.tenkaku-shakyo.com>

情報紙「ぱわわ」への
ご意見、ご感想も
はがき・FAX・メールにて
受け付けています。

現実譲りそのままの理由で活字のままで
読むことの困難な人のために、便利を目的とする場合は取扱い「難読図書」「山字
圖書」「拡大図書」等の製作すること
を認めます。



ぱわ
とは?

天白を元気にするパワ(力)と地域をつなげる
力(職)になりたい。そして読み。そんな思いが
ひとつになって ぱわわ と名づけました!!

地域で子どもを守り育てる あたかネットワーク 「あったかネットワーク」

～子どもたちが安心して過ごせる環境作りをめざして～

最近、子どもたちが巻き込まれる犯罪・事件が目だつようになりました。
名古屋市では、「地域の子どもは地域で守り育てる」を合言葉に「地域の世話やき活動」
が推進されています。

平針南学区でも「子どもたちが安心して過ごせる環境作り」をめざして「あったかネットワーク」を立ちあげました。学区で活動する様々な団体や住民有志の方々が、活動のシンボルとなる旗章をつけてふれあい・見守り・あいさつ運動に取り組んでいます。



「シンボルの旗章」あったかいハート、みんなで
手をつなぎあおうというイメージを表しています



小学校での文化活動もネットワーク活動の一つ



「おひんさん/クロール」
相手をしながら
見守り活動



地域交流会の活動、当社協同の見守りや見守り活動する
子ども達の声かけ、みんなと一緒に活動しませんか?

ここは
どこ?



ここは昭和46年ごろに撮影された
天白区内のある場所です。
さあ、どこかわかるかな?
<答えは、3ページ!>

知つとりやーあか

第8回



いのちの園地の図代なんですよ。

天白公園の中心にある山の一角が「てんぱくフレーバーク」。火や水、钉、木材、薪等にたくさん置いてある道具類（のこぎり、かなづらなどの工具、ロープ、調理器具など）を自由に使って遊びます。遊びを見守り、遊びのきっかけをつくるプレーリーダーもいます。プレーリーダーとともに日頃、子どもたちを見守っている竹村さんにお会いしてきました。

「他の子どもが遊んだような環境が、天白区内でも急速に劣化しています。越木林の自然をそのまま子どもたちの遊び場として残したい。公園での制約（火を据ったり、竹を切ったり、火を焚いたりできない）を見直したいとフレーバークにたどりつけました。」今年で開園9年目です。「天白公園がきれいに整備されて、毎日とてもにぎわっています。でも、こんな良い公園もほうっておくと、いろんな事件も起こってしまいます。危ないと噂がたてば、人も集まらなくなります。安心して子どもが遊び、人が集まるるような場所であってほしいと思って、世話をしています。」

それにしても子どもにのこぎりを使わせると大変ですね。「のこぎりがあるから



プレーリーダーと一緒に作った小屋、これが3世代。

てんぱくフレーバークの会 世話人代表 竹村 万知子さん(58才)
子どもがやりたいことを、自分の手で実現できる
自然とふれあい、人と出会う遊び場がフレーバーク

使いなさい、と言っているわけではないんです。他の子が使っているのを見て自分もやってみたい、と思ったときに道具がすぐ手元にある。そういうきっかけが、今必要だと思います。けがをしても、ばんそうこう程度だし、子どもの達成感は大人が考えるのとは違います。モノに自分がはたらきかけて形が変化していくのが楽しいと子どもは思っています。できたものから発想したり、失敗から他のものを作ったり、子どもは柔軟です。」

小さい子どもは、まだ使えない場所では? 「ねんねの赤ちゃんも来ていますよ。小さい子でも山に登ったり、迷路や木の実を拾ったり、思いっきりどろんこになりました。雨の日にも遊びに来ます。『森はともだち』という親子のサークルが若3回活動しています。自由に遊んで、お庭には持ちより網をしたり、うどんを煮たり、おもちゃを机したり。自然の中で遊びせいか、子どもたちを親がひつり見守る雰囲気がありますね。」

「子どもがおもしろい、と思ってやる遊びは今も昔もそう変わらないと思います。」と竹村さん。そういう「ママの子どもの姿」を見に、足を運んでみてはいかがですか? たき火を燃んでおしゃべりするのも楽しいですよ。(by三日)



火を燃しておしゃべり。

● てんぱく
フレーバーク 火曜日～金曜日10～17時開園（無料）誰でも利用できます。
4月下旬に親子のサークル『森はともだち』の募集をする予定です。
問い合わせ：080-2348-6621

ぱわわ 地域情報

夜間に診療してもらえる、小児科医専門の心強い救急診療システム 小児科医ネットワークなごや

夜間に多い子どもの急病に対応できるようにと、平成12年に制定した『小児科医ネットワークなごや』。全国でも数少ない、小児科医のみによる夜間救急診療システムです。

一般的に子どもの体調の変化に気がつくのは夜が多いものです。また2、3人の子どもを持つ家庭では、お母さんお一人での通院は困難です。この夜間救急診療システムでは、午後8時～10時まで診療を受け付けていますので、お父さんが帰宅されてからでも受診することができます。区内で開業している5人の小児科医が毎日交代で担当しています。代表電話（052-806-5699）に電話をかけると自動的にその日の担当医に転送されます。

また、このネットワークでは、二次・三次救急病院である名古屋第二赤十字病院、名古屋記念病院、聖隸病院と連携していますので、入院が必要な場合はベットを確保した上で紹介が受けられるので安心です。

地域のたくさんの方に見守られて本当にありがとうございます。

★ホームページ http://www.natsukawa-clinic.or.jp/ped-net_nagoya.html★

診療時間：午後8時～10時 土・日・祝祭日は休診

担当医療機関

曜日	担当医療機関	住 所	電 話
月	平針原クリニック	天白区原3-803	052-804-0311
火	くつなごともクリニック	天白区原3-804	052-804-2500
水	鶴川クリニック	天白区原4-404	052-801-0311
木	宇井こどもクリニック	天白区向ヶ丘2-1205-1	052-800-3155
金	西山クリニック	天白区西山1-1760	052-835-0281

受診される前に

- あらかじめ **052-805-5599**（代表電話）又は上記担当医療機関に電話で予約がめください。（担当医師が学習会休講等で交替していることがあります）
- 午後8時～10時の間にネットワークの代表電話 **052-805-5599**にかけていただきますと、その日の担当医療機関に自動的に転送されます。出来る限り電話で予約の上、来院いただきますようお願い致します。

私流! ぱわわ な子育て

子どものヘアカット!の巻

みなさんは子どものヘアカットってどうしてますか? 息ちゃんの娘は自分でカットできましたが、少し大きくなるとジッとしてくれないし、髪型にもうるさくなってしまいます。うちの娘はなぜだか「髪の毛をしばっている子が女の子」と決めているので、髪を長くしてリボンで結びたいみたいです。でも私はいつもショートカットなので、髪を伸ばしたいという娘の気持ちの理解に苦しみます。「短い方が手入れも楽なんだよ」と説明しても、娘は私の気持ちを理解してくれません。「あー、私の娘ではあっても、独立した一人の人間なんだよね。」と思われる瞬間です。ということで、娘の髪を短くすることはできないのです。ヘアカットするのも難ではなくて、ビデオを見せててくれる美容院がお気に入りの様子です。

私の想い通りに髪を切らせてくれないので、娘は自分で髪を切ってしまいます。私が手をはせない時などは要注意です。「おとなしくて、おりこうさん！」と安心し

天白で元気に子育てしているみなさんからのホットな情報。
エピソードなどお待ちしています。
あなたの「私流! ぱわわな子育て」を投稿して下さい!

て放っておくと、髪の毛を切っています。この前は七五三の前に左半分がボウズ状態。去年は前髪がギザギザで、おでこ全開。「どうして切ったの?」と聞くと「だって、さみしかったから…(T_T)」とのこと。いつでもきちんと娘の相手をしなければいけないと反省しつつも、見事な覚悟ぶりに思わず大笑い。どうにも修正できなくて、これはこれで良しとお互い納得しました。

みなさんはこんな「今なら笑えるエピソード」はありましたか? ぜひ教えて下さいね。(byみとむ)



介護や高齢者の生活に役立つ情報やヒントが満載のコーナー

介護のヒント・お悩み相談室

Q 最近足が弱くなっています。よく転びそうになります。どうしたらいいでしょうか。



A “己を知ること”が重要!

足の筋力が低下してきているのですね。筋力低下を防ぐには、まず“己を知ること”これが第一歩です。自分の能力を過信していませんか？また逆に、下に見えていますか？前者は筋肉への過度です。後者は筋力低下への過度となってしまいます。“己を知ること”というのは、現在送っている生活や、持っている能力を客観視してみるということです。一日一日をどのように過ごしてみるのでしょうか。慣習のある生活を送っているだろうか、一日中家の中にこもりきりになってしまいかなどと現在送っている生活や、持っている能力について、自分でなく家族を交えて考えてみて下さい。家族の前では、決して隠す必要はありません。自分の生活や能力をきちんと把握し、能力にあった生活を想像して下さい。そして実践して下さい。そうすれば、知らない間のうちに筋力は維持されるものです。ここで気をつけるべきことは、過去と現在の自分を照らし合わせ悲觀しないということです。自分に対する悲觀は、同じこもりの結果、出来ないことに首を当てるのではなく、出来る事に目を向けていきましょう。

また、生活上で気をつけるべきことの一つとして、転倒があげられます。自分の筋力はもちろんですが、玄関をはじめとする段差や家庭器具の配置など、転倒には明らかな原因があります。その一つ一つに目を向けてみて下さい。地図な場所はありませんか？その危険を取り除くことが、安全で有機的な日常生活を送る足がかりになるのではないでしょうか。

老人保健施設サンタマリア
作業療法士 山内 太郎



このコーナーでは、みなさんからお寄せいただいた質問にお答えします。介護の悩みや介護の方法、各種サービスの利用方法など、疑問や質問をお寄せください。あなたの悩みや不安を解決するヒントと一緒に探しめしょ！

天白区社会福祉協議会会員

天白区在宅介護支援センター（高齢者福祉なんでも相談所）

☎052-809-5555

この指とまれ！★ボランティア情報★

★個人募集★

犬の散歩ボランティア募集
お一人暮らしの高齢者（80歳女性）に代わり、犬（ボメラニアン）の散歩をしていただけるボランティアさんを募集します。おとなしい犬です。

- 日 時：毎朝（行程は歩道）
- 散歩場所：島田周辺
- 対 象：どなたでも
- 連絡先：天白区社会福祉協議会

★施設・団体募集★

ボランティア募集中！

障害のある子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか？ちょっと児童だけという方も大歓迎です。興味のある方は、お気軽にお連絡ください。

- 連絡先：NPO法人 かんぱす ボランティア担当／雄（はた）（天白区山根町3番地の2階）TEL 809-3828

看板と一緒にしてくれる

ボランティア募集

詳しい情報は、天白区社会福祉協議会ボランティア担当までお問い合わせください。

各日とも
■会 場：天白区役所3階
第3・4会議室

- 時 間：10時30分～15時
講座終了後、懇親懇親会を行います。
- お気軽にお相談ください。
- 申込先：天白区社会福祉協議会

料理教室

天白区在宅介護支援センターでは、高齢者支援の一環として「栄養バランスのいい献立」をテーマに料理教室を開催します。

- 日時：3月23日㈭ 10時～12時
- 会 場：東海学園大学
- 参加費：300円（先着30名）
- 持ち物：エプロン・三角巾
- 申込先：天白区在宅介護支援センター TEL 809-5556

★情報紙「ばわわ」も一緒に市多施設見学会！★

地域の福祉情報を集めて一緒に情報交換したりを作りませんか？開催要員を募集します。お問い合わせは天白区社会福祉協議会（TEL 809-5556）まで



正解は「平針街道」（天白区平針4丁目）です。

慶長17年（1612）徳川家康の命により開通され、守護頭、堤を通り平針、

八事を通じ名古屋城にいたる街道として作られた東海道延長の「平針街道」。家康は「東海道延長道 平針道」と書き記しています。この街道は軍事的な面が強く、大阪の陣、豊の陣もこの街道から兵を進めていました。平針には、定期街道と黒田街道が交わる交通の要所として発展。



西郷の本店と同様

昭和の初期からこの街道に住んでいた方のお話では、以前は人やリヤカーが往来、オート三輪が日々数台通る程度だったそうです。その後、表紙写真の頃には平針街道を通る車が急増し、道路が整備構造され、当時あった松並木もなくなり現在にいたっています。今では丸窓の門がありとりや、れんじ格子が面影を残していた日の出屋旅館もなくなり「そのまま残っている家は2～3軒くらい」と、懐かしそうにお話しいただきました。



現・本店・黒田跡があった平針4丁目(津井跡)

ふれ愛ネット天白

この一年の活動

「ふれ愛ネット天白」は、人と人のふれあいを大切に地域との交流活動をすすめています。



▲毎年国際つづれの市や春の花見まつりのメインステージで手踊コースを行いました。



2月28日	定例会（春詠） 学習会 天白区社会福祉協議会の地域福祉活動計画「てんてんプラン2004」についての話を聴きました。
5月30日	総会
6月12日	福祉区民のつどい 福祉施設などで作られた商品の即売会や手芸などの福祉体験、ゲームコーナーや遊びの広場など、たくさんの方々に参加していただきました。
7月～10月	交流見学会 区内の福祉施設やボランティア団体の協力のもと、見学及び体験者を受け入れていただき、15団体に74名の方が参加しました。（天白区社協と共に）
9月4日	防災訓練参加・災害ボランティアセンター設立体験（名城大学） 被災時に、ボランティアセンター設置場所となる名城大学で天白区防災訓練に参加。東海豪雨での体験話を聞いたり、センターの設備をシミュレーションしました。
10月17日	定例会（誠和荘） 学習会 天白警察署の方に来ていただき、天白で起きた身近な犯罪や、個人や地域ができる助けなどの話を聴きました。
11月12日	やみなべ交流会（天白公園） 57名参加。持ち寄った食材を調理師と手分け一氣で煮て食べました。毎年、どんな食材が集まるか楽しみ。今回はギョーザ・すいとん・ちら・うどんが好評でした。

天白区社会福祉協議会からのお知らせ

平成17年度 赤い羽根共同募金実績報告

赤い羽根共同募金 **11,833,270円**

年末たすけあい募金 **293,064円**



今年度も区民の皆様から多くの募金をお寄せいただきました。この募金は、愛知県共同募金会でとりまとめられ、平成18年度に天白区の地域福祉活動の財源として配分されるほか、両下の民間社会福祉施設の充実等に配分されます。今後とも共同募金にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

【天白区共同募金委員会】

T468-00115 第一丁目301 モルタルビル3階 天白区社会福祉協議会内 TEL 809-5550/FAX 809-5551

赤い羽根共同募金の問い合わせなどの情報につきましては、ホームページ (<http://kakuhin.or.jp>) をご覧ください。

【講座のお知らせ】

防災を考えるつどい

～災害から一人ひとりが動かせる地域づくりのため～

災害は、普段光景に地域で暮らしている人にも、医療や福祉のサービスを利用しながら生活を送っている人にも、みんなに楽しく育りかかってきます。災害から、「命」や「暮らし」を守り、「一人ひとりが動かせる地域」を作るために。今、自分ができること、すべきことを一緒に考えてみませんか？

■日 時	3月12日㈰ 13時～16時30分 (受付/12時30分～)
■内 容	第1部 講演「命を守るために」 講師：特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 渡野 健氏 第2部 報告「天白区内の避難所の状況」 第3部 ワークショップ テーマ：暮らしを守るために～避難所対策を考える～
■場 所	名城大学 天白キャンパス 11号館 第二会議室（西・東）
■参 加 料	無料
■参 加 定員	60名
■申込み方法	電話にてお申し込みください
■申込み先	ふれ愛ネット天白事務局 (天白区社会福祉協議会内)



・善意の輪・

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄附をいただきました。厚くお礼申しあげます。天白区の地域福祉資源に有効に活用させていただきます。

（平成17年11月1日から平成18年1月31日受付分 受付額）

- 東海学園大学「Lafayeゼミ」様
- 稲田学区女性会
- 株式会社 名古屋冠婚葬祭互助会 様
- 稲田南学区女性会 様
- 天白民謡・舞踊同好会 様
- 奥村 文子 様
- 団名希望 1件

